

三成を見つめるパート2 「三成の宝を見つめよう」

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力・判断力, 主体性・積極性, 自己理解

1 単元のデザイン

本単元の目標

「三成の宝」について調べたり考えたりしたことをもとに、生まれ育った地域に誇りを持ち、伝統文化の大切さや継承していく意義に気付くことができる。

児童について

本学級の児童は、1学期に地域探検を行った。三成の宝として、「藤井川」「三成八幡神社」「養老温泉」の3つを選び、チームに分かれて探検を行った。

他にも三成には「尾道鉄道」が通っていたことを知り、図書室で調べ学習を行っている。また、社会科の学習と関連して乃木山にも関心をもっている。

本単元で身に付けたい資質・能力

【思考力・判断力・表現力】

・集めた情報を整理し、情報を適切に取捨選択することができる。

【主体性・積極性】

・相手に応じて伝える方法を考えて表現をしようとする。

【自己理解】

・「三成の宝」を伝える活動を通して、地域に誇りを持ち、今後の学習に役立てようとする。

教材について

本単元は、1学期に探検した「藤井川」「三成八幡神社」「養老温泉」で分かったことに加え、三訪会の方から話を聞いたり案内してもらったりすることで、新たに「三成の宝」を発見することをねらっている。その中には、三成の歴史に触れる場面もあるだろう。高学年の歴史学習にもつながっていくと考える。このように、児童が今まで深く意識しなかったことに向き合い、身近な伝統文化の良さに触れ、価値を共感した再確認したりすることで、受け継いでいこうとする意欲を育むことができる単元である。

指導について

本単元の指導において、主体的な学びの充実を図るために、次の2点を工夫する。

第1は、地域の伝統文化を調査するために、まず保護者からの聞き取りを行う。次に、地域講師からの講話を聞いた上で、見学や体験活動を行う。主体的に取り組めるように文章でまとめる前に十分な取材を行う。

第2は、「三成の宝」を伝えるための方法を、対象を明らかにし相手意識をもって発信できるようにしていく。

2 単元の評価規準

思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	自己肯定感
○集めた情報を整理し、情報を適切に取捨選択している。	○相手に応じて伝える方法を考えて表現をしようとしている。	○「三成の宝」を伝える活動を通して、地域に誇りを持ち、今後の学習に役立てようとしている。

3 単元構想図（単元計画と評価）

本単元の学習の流れ（全30時間）

〈単元の入り口の意識〉

1学期に3つの地域について探検したよ。他にも、三成には伝統(「三成の宝」)があるみたいだ。その内容について調べ、詳しくまとめ、広めていきたい。

次	学 習 内 容	評 価			
		思	主	自	評価規準
一	○学習の見通しを立てる。 ・『『地域の宝』とは何か。』から、『『三成の宝』とは何か』について考える。 ・「三成の宝をみんなに知ってもらうにはどうしたらいいだろう。」ということについて考える。 (2)			○	○「三成の宝とは何か」という課題を持ち、積極的に解決しようとしている。
二	○必要な情報を集める。 ・必要な情報を取得するために何をすべきかを考え、情報収集に取り組む。 →地域住民の招聘・講話 →伝統が残る地域の場所への訪問 (尾道鉄道, 乃木山, 祭り・行事に参加するなど) (10)	○			○「地域の宝」について、何を知ることが必要か、それを集める方法は何かを考え、情報収集に取り組んでいる。
三	○宝が他にもないかを考えながら、今までの調査した情報をまとめる。 ・「三成の宝」が他にもないかを考え、調査する。 (3) (本時 13 / 30) ・伝統が残る場所(乃木山)への訪問, 講話, 体験活動をまとめる。 (5)	○			○「三成の宝」を知るために、地域講師の話を聞いたり、体験したりしたことから、情報を取捨選択して、まとめようとしている。

四	<p>○伝える方法を考え、表現活動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめたことを伝えるための表現方法を考える。 ・「三成の宝」が伝わる表現方法をグループで決め、協力して取り組む。 ・他学年に「三成の宝」を知ってもらうための「たからんど」を開催する。 ・まとめをする。 <p>(10)</p>		○	<p>○「三成の宝」を伝えるために、相手意識を持ち、内容や方法を考えて表現している。</p> <p>○発表活動を通して、地域に誇りを持ち、伝承していく大切さに気付いたりしている。</p>
---	--	--	---	---

〈単元出口の意識〉

「三成の宝」を調べていくうちに、今まで当たり前になっていた場所や知らなかった場所、ありのままの自然の中にも、大切な「三成の宝」があることが分かった。他学年にも「三成の宝」を知ってもらえたので、これから、それぞれの人が地域の宝を意識して、自慢に思ったり大切にしたりしてほしいな。

4 本時の展開

(1) 本時の目標

【目標】地域の宝について調べたことを自分たちの力で他学年に伝えるために、どのような方法があるか考えることができる。



(2) 本時の授業仮説 (下線部が本時の手立て)

【授業仮説】調べたこと以外にも「三成の宝」が他にもないか、「人」や「心」をキーワードとして焦点化させることで、自分の考えを明確にして友達と考えの交流をし、情報の取捨選択ができるだろう。



(3) 本時の展開 (下線部が授業仮説との関連活動)

学習活動 「主な発問」(思考の場) ・予想される児童の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手だて	評価基準 〔観点〕 (評価方法)
1 前時の学習を振り返り、本時の学習への意欲を持たせる。	◇前時の学習を想起させ、今まで調べてきた「三成の宝」について確認し、本時へつなげる。	
2 本時のめあてを確認する。		

ほかにも「三成の宝」がないか考えよう。

<p>3 個人で思考する。</p> <p>「三成の宝」が他にもないか、<u>自分の考えを持つ</u>。</p> <p>「自分が思う『三成の宝』とは何だと思いませんか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三成には、昔汽車が通っていたらしいよ。 ・三成の歴史が知りたいな。 ・乃木山に登ってみたい。社会科の学習の時に、学校のすぐ裏に山が広がっていることが分かったから。 	<p>◇昔からある伝統的なことにこだわらずに、身の回りにあるものから理由を付けて考えさせる。</p> <p>◆場所だけではなく、「人」や「心」のような「優しさ」が感じられる要素について着目させ、考える見通しを持たせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査したこと以外の「三成の宝」を考えている。 <p>[自理] (ワークシート)</p>
<p>4 全体で交流する。</p> <p>「三成の宝」が他にもないか、理由をつけて、<u>友達と考えを交流し</u>、発表する。</p> <p>「自分が思う『三成の宝』とは何だと思えますか。理由をつけて発表しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メタセコイアだと思います。理由は、三成小学校に昔からあって、私達三成小学校の子供たちを見守ってくれていると思うからです。 ・地域のおじいちゃんやおばあちゃんだと思います。理由は、おじいちゃんたちにいろいろなことを教えてもらったり、守ってもらったりしているからです。 ・私達だと思います。理由は、私達は地域の人たちに守られているからです。 ・三成の人の親切や笑顔だと思います。理由は、親切や笑顔があるから、三成がいい町だと思うからです。 ・「三成の宝」には、おじいちゃんやおばあちゃん、私達なども含まれる。 ・「三成の宝」には、親切や笑顔など人や人の心も含まれる。 	<p>◇必ず理由を付けて、発表させる。</p> <p>◆自分と友達との考えを聞いたり比べたりして、自分の考えに自信を持ったり、付け加えさせたりして、発表への意欲を持たせる。</p>	
<p>5 まとめをする。</p> <p>「『三成の宝』は他に何があると思えますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人も宝だということに気づきました。 ・場所だけではなく、人だったり心だったりすることが分かりました。 	<p>◇友達との「学び合い」について振り返り、本時の学習の自己評価をさせる。</p>	
<p>6 本時を振り返り、次時につなげる。</p>		

(4) 板書計画

10 /	三成を見つけるパート2 ～ 三成の宝を見つけよう ～	<table border="1"><tr><td data-bbox="799 264 911 712">(考)</td><td data-bbox="911 264 1139 712">宝</td><td data-bbox="1139 264 1461 712">理由</td></tr><tr><td></td><td>自然 おじいちゃん メタセコイア 三成の子ども 親切 え顔</td><td>学校のすぐ近く。 守ってくれている。 学校が目印 元気をあげている。 助けてくれている。 気持ちがいい。</td></tr></table>	(考)	宝	理由		自然 おじいちゃん メタセコイア 三成の子ども 親切 え顔	学校のすぐ近く。 守ってくれている。 学校が目印 元気をあげている。 助けてくれている。 気持ちがいい。
(考)	宝		理由					
	自然 おじいちゃん メタセコイア 三成の子ども 親切 え顔	学校のすぐ近く。 守ってくれている。 学校が目印 元気をあげている。 助けてくれている。 気持ちがいい。						
(め)	ほかにも「三成の宝」がないか考えよう。	(ま) 人や心も「三成の宝」である。						
(見)	・場所でなくてもよい ・身の回りや身近なもの・こと ・人 ・心							